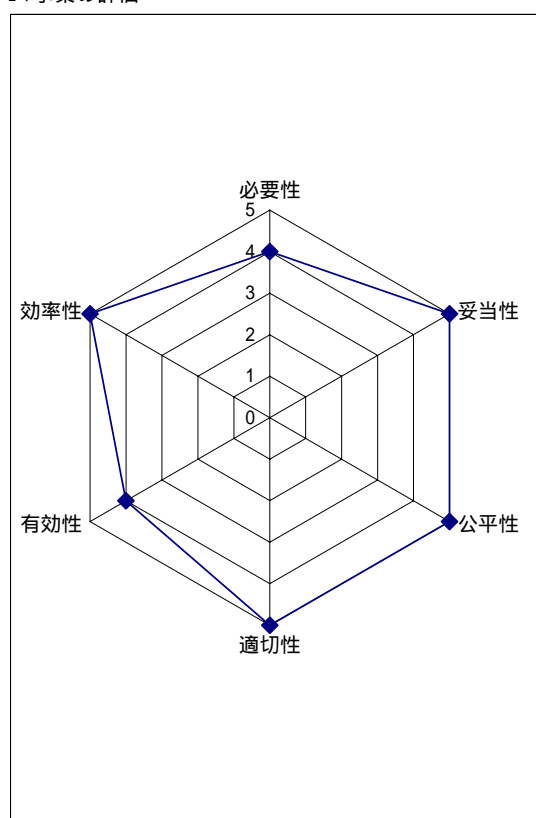


| | | | |
|-------|-----------------------------|------|------------|
| 事務事業名 | 市道0226・5234号線道路改良工事 | 担当部局 | 市長部局 都市建設部 |
| 基本目標 | 美しいゆとりある快適環境と景観づくり(環境・都市基盤) | 担当課名 | 土木課 |
| 施策体系 | 安全で快適な暮らしづくり(生活道路整備) | 担当係名 | 改良係 |
| 施策 | 身近な道路の整備を進める | | |

1. 事業内容

| | | | |
|-----------------|--|--------|--|
| 事業本来の目的と具体的内容 | 集落を結ぶ幹線市道であり、地元建設促進委員会が設置され、強い要望により事業化 | | |
| 事業の期間(開始/終了) | 平成12年 3月/ | 99年 9月 | |
| 根拠法令、条例、規則など | 道路法・道路構造令 | | |
| 事業が対象としている人(モノ) | 市道0226・5234号線 | | |
| 具体的な活動内容 | 実施設計(詳細設計)に基づき、設計図書の作成する。 | | |
| | 設計図書に改良工事発注(新設道路)する。 | | |
| | 工事を実施する。 | | |
| 事業の成果 | 計画通り、設計図書を作成できた。 | | |
| | 工事期間内に完了した。 | | |

2. 事業の評価



| 項目 | 説明 |
|-----|---|
| 必要性 | 4 依然、必要性が高い |
| | 整備が進むことにより交通量も増加し未整備区間の道路(現道)の損傷度も高く、ますます整備が望まれる。 |
| 妥当性 | 5 行政以外にはできない事業である |
| | 市道整備は行政が実施するものである。 |
| 公平性 | 5 広い範囲に対して便益を提供しており、偏りは見られない |
| | 開通後は、地域間の交通の円滑化及び地域の活性化をはかる道路であり、広く便益が提供できる。 |
| 適切性 | 5 現在のやり方(手段)以外には考えられない |
| | 適切な方法である。 |
| 有効性 | 4 概ね目標水準に達している |
| | 目標を達成できた。 |
| 効率性 | 5 効率は相当高められている(相当なコスト低減が図られている) |
| | 入札により工事費が下げられ、コスト効率が高まった。 |

| | |
|------|--------------------------------|
| 総合評価 | 地域間交流の円滑化及び活性化の観点から早期整備が必要である。 |
|------|--------------------------------|

3. 今後の事業の方向性

| | | | | | |
|--------|----------|---------------------------------------|------|--------|------|
| 所属長判断 | 事業の方向性判断 | 短期的方向 | 維持継続 | 中長期的方向 | 維持継続 |
| | 説明 | この道路は、地域間を結ぶ幹線道路であり、年次計画により整備する。 | | | |
| 決定権者判断 | 決定内容 | 維持継続 | | | |
| | 説明 | 市の道路政策として進めている事業であり、財源の確保を図り早期完成を目指す。 | | | |